

大海集

上

愛媛
大學

古典叢刊

17

愛媛
大学

古典
叢刊
17

大海集

上

ろ
に
春
夏
下
下

第二期 刊行書目（太字既刊）

- 15 拾遺和歌集 上 伝二条為忠・世尊寺行忠筆本
- 16 拾遺和歌集 下 伝二条為忠・世尊寺行忠筆本
- 17 大海集 上
- 18 大海集 下
- 19 大海集 翻刻編 上
- 20 大海集 翻刻編 下
- 21 古今著聞集私記 矢野玄道
- 22 古事談・続古事談 宇治拾遺・十訓抄 私記 矢野玄道
- 23 景清 丹緑本
- 24 源氏物語 冷泉為相他筆鎌倉期古写本

その他

愛媛大学 古典叢刊 17

大海集 上

昭和四十九年四月一日発行

編者 和田茂樹

刊行 愛媛大学 法文学部国語国文学研究室
愛媛大学 古典叢刊刊行会

松山市文京町三

印刷所 有限会社 青葉図書印刷部

松山市小栗六丁目三二二三

790 松山市小栗六丁目三二二三

発行所 青葉図書

電話（〇八九九）四三一六一六五
振替・徳島 六二一〇

凡 例

一、大海集は、伊予宇和島藩家老桑折宗臣の撰したもので、「寛文十二在歳七月上旬小亀益英開板」七冊本であつたと思われる。

一、本書は、伊丹市の岡田柿衛文庫蔵本を影印、百分の七十二の大きさとした。

一、上巻には春下・夏上を、下巻には秋上・秋下を収め、秋下の二丁は佐々木文庫蔵本をもつて補った。

一、全巻については、別に「翻刻編」として、謄写本に基き刊行する。

目次

大海集 上

卷之二

ろ 春下

..... 一

卷之四

に 夏下

..... 一二七

大海集 下

卷之五

ほ 秋上

..... 一

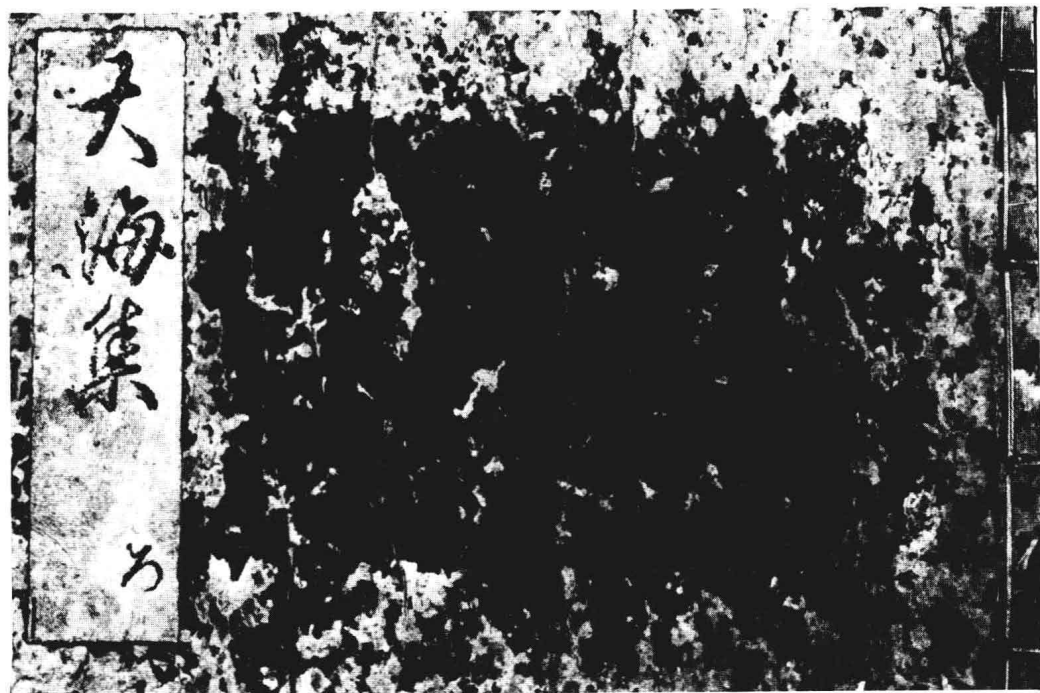
卷之六

へ 秋下

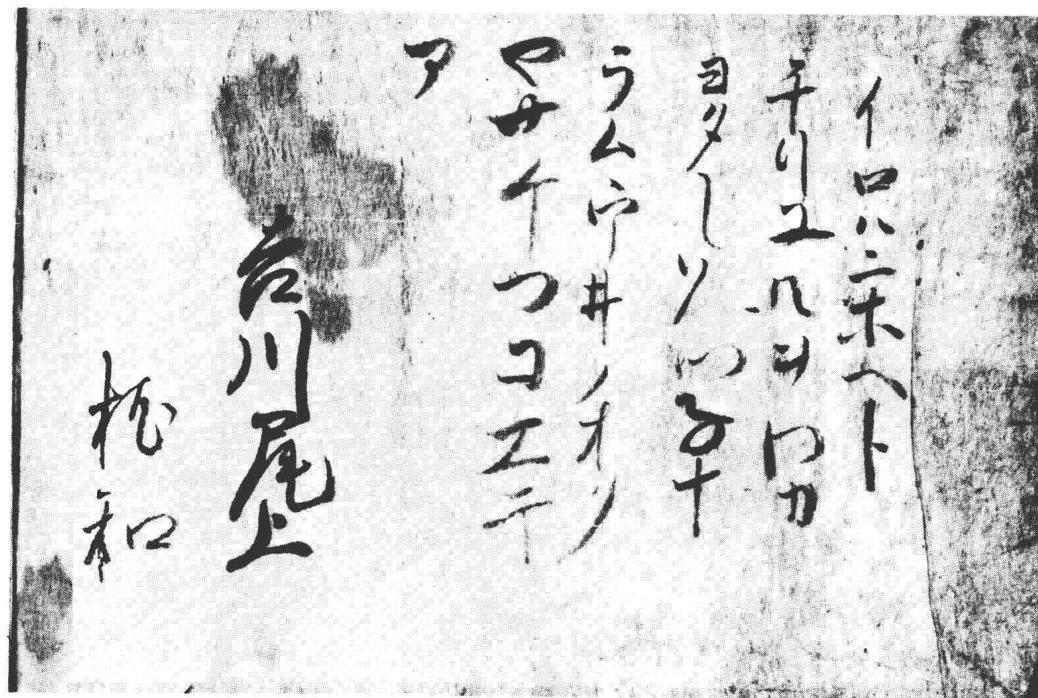
..... 八七

解説

..... 一七一



表紙



見返

大海集卷之二

春下題

花

楊

梨

海棠

杏子

辛夷

木蓮花

千本念佛桃

三月三日

付桃酒
蓬餅

鳥合

塩干

石山祭

淨燈

楊柳

付楊實

永日

俳個花

護戒大念佛淨身拭

佛影供

茶摘

莖

小采花

小米楊

沉丁花

小繸花

躑躅

藤

山吹

喚子鳥

春郭公

子鮎

付登藥

雜春

暮春

金田氏貞也 江戸住

ふみえわや 江戸住

吉野氏 將和 廣河新井庄

哥ふまて 創のまゝなるものゝ義

ふみ成方也 松島
大沼住

公家大沼や 花よ三首の可合

比金氏貞隆 江戸子

ふみとて 直にや 江戸花の可

兼折氏 宗頼 江戸花

ふみけ 平なり 江戸花のいろは

江戸金氏治房 藤蘿軒

花よす 戒や 墨主の介様

井上氏 威勝 江戸住

奇書く 花論結は 江戸花

千里氏 心松

植にけ 花や 懐紙のうゝ 江戸

楠氏可申

佐々高孝住

花のまゝ入目とて人ばかり

相原氏友清

号相紅行
心碎子

雅もろくろくわく煩悩花の

小出氏忘

尾列熱田住

うけさなうしろな園を花の

中村氏直久

塚住

花のひと菴わすこの出菜屋に

渡邊氏友意

号安住行
尾列名重住

天と花は依ねる一樹の法因りこ

松崎氏政定

号松英子
新列有馬湯田住

いにもく永目とて花のひ

小西氏幸茂

防別堂住

さいちやさいちやとて花のひ

加藤氏可廣

塚住

花のねゆりて人や一かな

原书缺页

原书缺页

一頁

田窪子
江天佳

花は碎りて又玉をむく酒

玉手成宗後 塚佳

花は根よりうて人へ森酒れ

勝井成友勝 初刻余山佳

花の糸はうけりてきり白濁機嫌

沙門教夫 塚佳

わくしに花は真白き手持介

修験村氏西定 大塚佳

明徳もかりて花の陰

巴崎成相馬

なま物やけは化物と花より下

吉田成信元 中

花のみうや花のまきも里

萬成直計 千色子
名古庵佳

花のまはふきし花の山

中堀氏物か

大坂住

絵の罨花のあつちとよきてち

大坂氏近之

一曲子
江戸住

乃々花のうききたされう酒の罨

浅田氏春ら

大坂住

花のあつちとよきとれや鞠の罨

兼松氏友せ

山城伏見住

小刀は花ときれとの文珠の罨

花のあつちとよきと何通う人通う

花のあつちとよきとやあつちとよき深

津渡の花のあつちとよきと

鶴氏直討

千色子
名古屋住

さういふ花と津のあつちとよきと

東折氏頼臣

はなれと津本とよきとねとれ

可の字と下とよきとねとれ花の罨

二五

傳り木の花をててより抄さるる

か猶也云跡

散花の花やもあれ確々
黒まきせもひーハ花れね

中鴻也臣政

東掖也宗属

守じ花ぞあゆみはふき也

波多也文也

名直屋住

系ゆよとけりよさるや花袋

富永也直良

容勝子

はきまけの花よふひや二心

大村也義次

曲身子

とのけうも筆とある頃か

野色也祐政

号宗岸屋
住戸住

水やうう南はねをてるる衣

藤屋也安友

七のま山住

をの人にはうりよをけけ衣